



より意義のある PTA 活動を模索しています

来年度の PTA 活動アンケートについて

まつりのアンケートに続き、「令和 6 年度に向けた PTA 活動アンケート」にもご協力いただきありがとうございます！まず大前提として、PTA の一番の目的は「学校のお手伝いをする事」でも「子どもが喜ぶイベントを運営すること」でもありません。「保護者と教職員とが協力して、教育に関する理解を深めること」これが最上位の目的です。教育の課題を共有し解決策を話し合う。その先に、さまざまな活動が生まれていきます。

「児童の安全を守る活動」がダントツ1位

上記を踏まえた上で、どのような PTA 活動が必要か？どんな活動に参加・協力したいか？の設問に対して、結果は以下ようになりました。

- | | |
|------------------|-----|
| ➤ 第1位 児童の安全を守る活動 | 55% |
| ➤ 第2位 保護者と児童の交流 | 29% |
| ➤ 第3位 教育課題の共有 | 26% |
| ➤ 第4位 保護者と教職員の交流 | 22% |

※複数回答のため、トータル100%にはなりません

児童の安全を守る活動は、「あいさつパトロール」にあたるかと思います。特に、登下校中の見まもりは非常に重要です。現在は地域の「子ども見まもり隊」の方達に多大なご協力をいただきながら、任意で「あいさつパトロール」に参加していただいた保護者の方によって支えられています。

「子ども見まもり隊」の後継者問題

子ども見まもり隊は地域のボランティアの方々ですが、**高齢化と後継者問題が非常に深刻**です。後継者が見つからず、かといって自分が立たない事で子どもが不幸な事故にあってはならない……。ご自分のお子さん・お孫さんでもないのに、そのような責任感を持って、80代になっても毎日立ち続

けてくださっていた方がいることを、皆さんはご存知でしょうか？

あいパトの運営方法を見直します

今年度は「PTA 活動は任意である」ことを前提に、あいパトにも無理のない範囲でご協力いただき、というスタイルで行ってきました。しかし、**参加申し込み数は、毎回会員数の約半数**。さらに参加方法も「**通学団の出発まで見守る**」が人気。申し込みはせずに毎日のようにお子さんと登校している方がいるのも承知しているのですが、**確実に登下校中の大人の目は減少**しています。

確かに保護者の負担は減りましたが、それが原因で不幸な事故が起きた・・・そのような事態は、絶対にあってはなりません。**業務委託も可能かどうか調査しましたが、現在のところ請け負ってくれる業者を見つけられていません。**

アンケートの結果からも浮き彫りになった、安全を守る活動の必要性を踏まえて、来年度、あいパトの運営方法を大きく見直そうと考えています。

Google フォームによる事前申し込みでなく、事後報告にすることで、手薄になっている危険ポイントや通学路がないか確認できるようにします。

また、強制とは言わないまでも、できる限り全世帯(全会員ではなく全世帯です)の方に参加していただけるように、発信を続けます。

前期に1日、後期に1日、年にたった2日です。お子さんの通学団と一緒に、登下校してみませんか？せめて、見まもり隊がいるポイントまで歩いて行って、日頃の感謝を伝えませんか？

お仕事の調整や、小さなお子さんを抱っこするなど、手間はありますか？でも、危険箇所があることを新たに発見して子どもと話すきっかけになったり、思いがけず子どもの成長を感じたり・・・あとから振り返ってみたときに、小学生時代のお子さんとの貴重な思い出の1ページになるはずです。ご協力のほど、よろしくお願いします。